



聖日礼拝プログラム

今週のみことば

司会者 渡邊貞雄師

ONLINE礼拝

讃美★新393	献げまつりし	—	同
主の祈り		—	同
讃美★新249	貧しくあれども	—	同
交読詩篇	107:10~22	—	同
祈	禱		渡邊頼子師
聖書	マルコ12:41~44		司会者
説教	「レプタをささげた女性」		渡邊貞雄師
献頌	金★新315 主の御手に頼る日は	個人個人で	
祝	栄新63 父、御子、御霊の	(起立) 一同	
	禱		★印。=全節朗読

報告 司会者
 受=なし / 操=渡邊師 / A=なし / 報=牧師

〒515-0044 三重県松阪市久保町1445-7 COG 松阪キリスト教会
 TEL 0598 (29) 1780 主任牧師 渡邊貞雄
 FAX 0598 (29) 1791 牧師 渡邊頼子

「皆はあり余る中から投げ入れたのに、この人は乏しい中から、持っているすべてを投げ入れたのですから。」
 マルコ二・四四



2022年3月13日 VOL. 45-11 No. 2367

URL <http://matukyo.com/>
 Email sadao@mctv.ne.jp

ご報告・消息欄

- ▼ 今朝の礼拝も、コロナの影響のためにオンライン配信での礼拝となります。ご理解をよろしく。
- ▼ ただいまレントの期間(3/2~4/16)を過ごしています。受難週は4/10(日)~16(土)までとなります。私たちの心も、主の受難へ向けさせていただきましょう。

- 来週礼拝マルコ14:12~25
- 主 題「過越の食事」

- ▼ ウクライナとロシアの紛争が激化しています。平和的解決が一刻も早くなされますようお祈りしましょう。「主は、地の果てまでも、戦いをやめさせる。…戦車を火で、焼かれる。」(詩篇 46:9)



にれ はみ

2022年3月6日
聖日礼拝
マルコ11:1~11
「ろばに乗る主」
説教 渡邊貞雄 師



ここは巡礼で過越祭に都に上って来た人々が、ろばに乗って入京された主イエスを歓迎した出来事である。

I、主イエスの入京

人々は上着を道やロバの背中に敷き、枝ごと切り取った棕櫚の葉を振りながら、「ホサナ」と喜びの声を上げて歓迎した(9、10)。「ホサナ」とは「今救ってください」とか、「どうか救ってください」の意味である。

今朝は詩篇118:25を含む聖句を交読したが、ここにも「ホサナ」がある。この言葉は長旅の末にエルサレムに到着した巡礼の人々を、神殿の祭司が神の祝福があるようにとねぎらい、歓迎することばであった。主の入京は人々に大きな興奮の渦を巻き起こした。

II、主イエスの行動

この興奮の只中で主は何をなさったかと言うと、宮殿の隅から隅までを冷静な洞察力で見て回ったこと(11)。

12弟子も行動をともし、視察を終えるとベタニアの村に身の危険を避け、静かな交わりを持つために戻って行かれた(1、ヨハネ11:1参照)。

主は神殿内をご覧になり、更にエルサレムの高台からも都をご覧になった(ルカ19:41~44)。そしてろばの背の上で平和を知らず、それを失いつつあるこの町のために落涙された。神の子イエスが涙し、嗚咽を發している姿を、深く受けとめようではないか。

III、ろばに乗られた主

ろばはドンキーで、耳が長く愚鈍の象徴であった。このろばは人を乗せたこともなく、重荷を担ったこともなく、人からの賞賛を受けたこともない。しかしこのろばに救い主が平和の王として乗られた。それは救い主が到来された成就であった(ゼカリヤ9:9)。

このろばは、向かいの村に行き、2人の弟子たちによって調達された。その際、弟子たちが主の言葉に従うと、驚くことに「言われたとおりに」(6)貸してくれた。主の言葉の真実さと力、また先見性、摂理と権威を知り驚く。

宮殿を見られ、涙も流された主、敢然とろばに乗り入京された主。「知」「情」「意」をもて、十字架に向かわれるこの御方を、喜んで心に迎えたい。